



聖書を読む会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル内 No. 123

ウェブ サイト: <https://syknet.iimdofree.com/> Email: sykoffice21@gmail.com

Facebook: <https://www.facebook.com/FB.SYK> 郵便振替: 00180-9-81537

2021/ 7/1 発行

ジョン・ウェスレー 2

—ウェスレーの聖霊論—

東京フリー・メソジスト教団桜ヶ丘キリスト教会主任牧師
聖書を読む会元理事長 お茶の水聖書学院講師
水口 功

今回はジョン・ウェスレーの聖書論について概観しましたが、ウェスレーは「聖霊が聖書を生み出す」と信じていました。「聖霊なしには神の真理は開示されない。また、聖霊は世界のあらゆる文化、民族、宗教の中にすでに働いており、特にペンテコステ以降は聖霊が人を救いに導いている」と確信していました。「聖霊はガイドであり、聖書はルールである」と彼が残した言葉には、聖霊に対する強い信頼を伺い知ることができます。

ウェスレーがそのような聖霊の恵みを強調したのは、彼自身の体験に基づいています。彼が 35 歳の 1738 年 5 月 24 日に、英国のアルダスゲート街で開かれていたモラビア派の集会に気乗りしないながらも出席した時、ローマ書からの朗読を聞きました。その時彼は「心の内が不思議に暖くなる」体験をしました。その出来事について、後世の人たちが「彼にとっての救いの初めだった」、「この経験こそが第二の転機と呼べるたましいの刷新の機会となった」などと言う諸説が論じられていますが、ここで彼自身が残した日記から、この日に彼が経験したことを追って見ましょう。

「私は、私の心が不思議に熱くさせられたのを感じた。私は救われるためにキリストに、ただキリストのみに信頼していたことを知った。そしてイエス・キ

リストが確かにこの私の罪を取り除き、私を罪と死の律法から救い出して下さったという確信が与えられた。」

彼のこの言葉について、アウトラーという人は「『私は感じた』は能動態であるが『不思議に熱くさせられた』は受動態である。彼のアルダスゲートの経験は、内なる聖霊と共に働け力強さを証している」と語っています。この出来事がウェスレーのその後 50 年に及ぶ宣教活動において、欠くことのできない転機となったのは確かなことでした。

アルダスゲートでの経験を通してウェスレーは刷新され、賜物としていただいた聖霊(使徒 2:38)の働きを、宣教活動において強調しました。ウェスレーは神学的には、神の選びの主権に対する人間側の応答を強調したアルミニウスという人からの影響を受けたと言われています。しかしアルミニウスが聖霊についてあまり強調しなかったという点では、立場を異にしました。

聖霊の働きについては、ウェスレーは東方教会の影響を受けています。4 世紀の頃、ローマの属州のカップパドキアで三大教父の一人として知られていたバシレイオスという人は、当時考えられていた「聖霊は被造物ではないか」という論に反対し、ニケア信条で制定された父・御子・御霊の三位一体論を推進しました。彼は「被造物はいのちを与えられる必要があります。しかし聖霊はいのちを与えてくださる方です」という言葉を残しています。この言葉は、ウェスレーに「三位一体の神がまずいて、特に聖霊は未信者であろうが、信者であろうが人間が生まれた時から神の恵みを伝えるべく働いておられる」と言わしめる影響を及ぼしました。そして彼は「みことばに対しても聖霊が働いてくださる」と言って聖霊の働きを強調したのです。

聖霊が人の人生の転機的な経験を導き、その後もみことばを通して、また実生活を通して神の臨在をより鮮やかに指し示すというウェスレーの主張は、筆者も確かに体験しました。筆者にとっての「アルダスゲート」は 1979 年 8 月 4 日でした。当時大学 4 年生であった筆者はその 3 か月ほど前に、クリスチャンの指導者から「君は聖霊の臨在や導きを体験的に知っているか」と問われた時、素直に「はい」と答えられませんでした。当時クリスチャンであることは周囲の人からも認知され、教会生活や奉仕にもそれなりに熱心でした。しかし聖霊の働きについては曖昧な

ままの理解でした。そこでその指導者の勧めに従い、聖霊の臨在を求める祈りを続けました。そのようなプロセスを経てその日、「聖霊を受けなさい」(ヨハネ 20:22)の聖句に触れた時、その場に思わずひざまずき「聖霊を受けます」と応答しました。その時、不思議にも心燃やされる体験をし、聖霊なる神の臨在を覚えました。あれから 40 年の歳月が経ちましたが、確かにこの出来事を通して、神の導きや聖書の言葉がよりリアルにわかるようになったと感じています。ウェスレーと自分を重ね合わせるのは恐れ多いことですが、ウェスレーに働いた聖霊のみわざが、小さな筆者にも同じように働いていると悟ることは大きな喜びです(次号に続く)。

SYK 便り

「使徒の働き」リーダーセミナーを Zoom で開催



2020 年 3 月のセミナーには、関東、中部、四国などの各地から参加してくださいました。参加者のお一人が感想をよせてくださいました。



テキストに従って聖書をグループで読む、というシンプルな方法ですが、丁寧に御言葉を味わうことができました。「まとめ」欄は、理解を整理し、文脈から逸れずに次に読み進む手助けをしてくれました。また、「考えよう」や「祈ろう」の項目は、自分の生き方、考えや思いが、御言葉の指す方向を向いているか問うてくれます。

さて、私個人が非常に魅了されたのは、脚注の用語の解説やコラムです。筆者の深い見識と知識が、ここに惜しみなく共有されています。言語、文化、歴史、考古学など、聖書に関連するあらゆる分野の学者達が、長年かけて積み上げてきた研究の賜物が、わかりやすく示されているぜいたくなテキストです。この聖書研究を通して、使徒時代のキリスト者が理解した内容に、さらに一歩近づけるのではないかと思います。

同盟福音基督教会 大山田キリスト教会
牧師夫人、河村尚子様



「ルカの福音書」好評発売中

4月15日に発行したこの手引は、200冊の委託販売に加えて、すでに60冊の追加注文が入りました。多くの方々が福音書の学びに興味を持ち、この手引が期待されていることを実感しています！表紙を飾るのはフェルメールの「マリアとマルタの家のキリスト」



新刊手引「詩編（抜粋）」出版準備中

指定献金をお願いします！目標 35 万円

年に一度「聖書関連団体の集い」という集まりがあります。そこには、SYK、聖書同盟、ウィクリフ、新日本聖書刊行会、いのちのことば社、など、聖書に関する諸団体と日本聖書協会（以下 JBS）が出席して交流を続けています。その交流の延長として、JBS から提案がありました。「聖書協会共同訳の詩編に関する書籍を JBS が出版するが、SYK も詩編の手引を出さないか、この二冊をネットやチラシ等で一緒に宣伝しよう」というものでした。この申し出は、SYK の存在と手引を、共同訳を使っておられる方々に広く知っていただく良い機会と考えました。手引は共同訳の本文付きで、新改訳にも対応しています。秋発売予定です。この出版のために、ご支援ください。

オンライン化によって超えた距離！

2020 年度には、牧師会や教会でのアピール、また様々なセミナーをオンラインで開催しました。セミナーには全国から参加していただきました。今年は、ヨーロッパの方々を対象としたセミナーも計画されています。オンライン化によって日本全国から、外国からも参加できるようになったのです。今後、**皆様の要望に応じたセミナーやアピールをどこでも開催できますので、メールにてご相談ください。詳しくはウェブサイト「セミナー案内」ページで。**

通信と維持会レターのデジタル配信のお願い

聖書を読む会の「通信」や「維持会レター」をデジタル版で受け取りたいと思われる方は、お名前と「デジタル版を希望」と書いて、Eメールにてお知らせください（sykoffice21@gmail.com）。デジタル配信は、SYK の経費節約になりますので、ご協力いただければ幸いです。維持会員についてはウェブサイトの「ご支援ください」のページをご覧ください。

編集後記

畑のトマトの苗が育ち、小さな実がつかまりました。イエス様の救いが、スモールグループによって広がり、実を結んでいく。そのために SYK が用いられることを幸いに感じています。KS



NEW

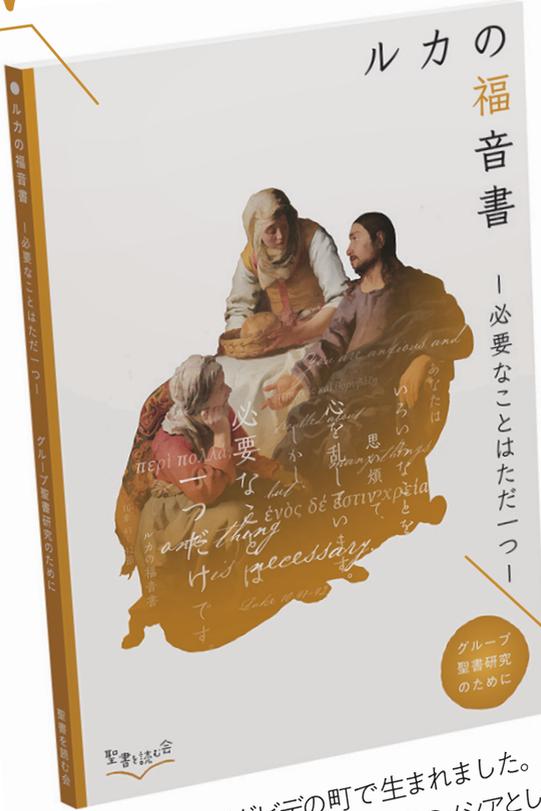
福音書を学ぶ待望の
新刊

ルカの福音書

ルカの福音書

「必要なことはただ一つ」

「必要なことはただ一つ」



グループ
聖書研究
のために

4/15/2021

イザヤが預言していたキリスト〔メシア〕がダビデの町で生まれました。メシアの到来を待ち望んでいた当時のユダヤ人は、この方を真のメシアとして受け入れるでしょう。ルカが記したこの福音書には、イエスが語る神の国の福音を前にして、ユダヤ人が二つに分けられていく様子が、ありありと描かれています。

■ 本書の特徴

「神の子」「神の国」「下着と上着」「エルサレム陥落」など、より深く知りたい用語を中心に22のコラムで解説。197の脚注で理解を深める。

A5版 148頁 定価 1,100円+税 4月発売予定

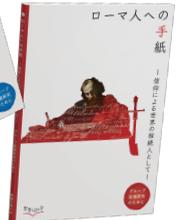
こちらどうぞ!!

同じルカが記した「使徒の働き」ルカが同伴したパウロによる「ローマ人への手紙」この3冊で新約聖書の中心が学べます



『使徒の働き』
17課 ¥900+税

『ローマ人への手紙』
8課 ¥700+税



2020 年度決算報告 (2019 年 4 月～2021 年 3 月)

収支計算表

[収入の部]		単位 円	
科 目	予算額	決算額	達成率
献金収入	4,230,000	3,173,294	75%
負担金収入*	1,988,000	940,407	47%
その他収入	8,792	3,593	41%
当期収入合計	6,226,792	4,117,294	66%
[支出の部]		* 手引代金	
伝道・活動費	1,813,400	910,906	50%
維持・管理費	1,353,200	1,165,417	86%
人件費	3,060,192	2,077,540	68%
当期支出合計	6,226,792	4,153,863	67%
当期収支差額	0	-36,569	

貸借対照表

[資産の部]		単位 円	
科 目	前年度末残高	3月末残高	
現金預金合計	1,295,074	1,312,595	
その他流動資産合計	1,242,540	1,250,198	
流動資産合計	2,537,614	2,562,793	
固定資産合計	422,000	422,000	
資産の部合計	2,959,614	2,984,793	
[負債の部]			
流動負債合計	0	0	
正味財産合計	2,959,614	2,984,793	
負債・正味財産合計	2,959,614	2,984,793	

コロナ禍の厳しい状況のなか、2020年度もご支援くださりありがとうございました。SYKは、日々の仕事はリモートワークとし、主事の会議はオンラインで行いました。また、セミナーと諸教会へのアピールもオンラインで行い、事務所をシェアオフィスに移転したので、支出を大幅に抑えることができました。

「聖書を読む会 SYK」の働きは、皆さまの祈りと献金によって支えられています。今年度も手引を出版し、教会へのアピールやセミナーを進めていますので、引き続きお支えください。

献金を感謝いたします 2020年4月～2021年3月(順不同 敬称略)

【教会・団体 40】生田丘の上キリスト教会、上田福音自由教会、宇都宮聖書バプテスト教会、永福南キリスト教会、エマオ聖書教会、青梅キリスト教会、小川キリスト教会、かもい聖書教会、行田カバナント教会、久遠キリスト教会、越谷福音自由教会、堺大浜キリスト教会マルココインニア、札幌希望の丘教会、札幌聖書キリスト教会、Japanese Presbyterian Church、Japanese Christian Fellowship Network、石神井福音教会、昭和聖書教会、新松戸福音自由教会、菅生キリスト教会、世田谷中央教会、高石聖書教会 婦人会、高松シオン教会、玉川神の教会、たまプラーザキリスト教会、都賀キリスト教会、桜ヶ丘キリスト教会、十日市場めぐみキリスト教会、中山キリスト教会、(中山初サ教会)白根聖研、日本ナース・クリスチャン・フェローシップ、秦野詩音キリスト教会、馬天キリスト教会、浜田山キリスト教会、東村山キリスト教会、前橋キリスト教会、松見ヶ丘キリスト教会、丸亀聖書教会、南大沢チャペル、武蔵野泉教会

【個人 109】新井愛子、新井なつ子、有野田鶴子、池田美栄子、池田幸美、池田百合子、石野千恵子、稲垣浜子、今井幸代、今村博子、岩井昭子、岩崎喜久子、岩下幸子、岩渕芳昭、大嶋善直、大森謙治、小川紀一郎、小川満美、奥村節代、尾崎敬子、尾関和恵、尾上選哉、尾松京子、小山田格・和美、甲斐博・真理子、加々美要、片岡栄子、加藤太郎、門谷統一・邦子、金成美貴、金重栄二、菊池守・きよ子、木下和好・恵美子、久保田たつ子、久保田庸子、小池清・三枝子、小池巴実香、小嶋淑子、兒玉照恵、小松雅子、今野蓉子、齋藤潔・ますみ、齋藤恵子、坂口昌信・英子、桜井純子、佐々木陽子、里見えみ子、芝田寛二・正子、島田法子、島田祐也、嶋田留美、杉山礼子、鈴木喜香、鈴木洋子、関谷典子、曾山盛夫、大門節子、高橋和江、竹中秀子、多胡伸子、多田一江、立石哲・早苗、田中啓子、田中初子、谷田みどり、田部明子、田村真、田村水比古、寺島和子、時田敏彦、徳矢まり江、永井緑、長畑実、成瀬信子、西野玲子、蛭川いづみ、野上綾男、野地和子、橋本恵子、羽鳥貞子、花香純夫・寿子、濱道子、林照子、林しずか、平間真由美、福島優一・リツ、福田崇・愛子、藤森之和・奈都子、Asako Payton、榎田ゆり子、松村隆・美知子、三澤輝江子、水口功・いづみ、宮下謙、宗像敏子、村田文子、森和亮、矢部由紀子、山崎和子、山田千鶴子、山内通子、山本多恵子、山本史子、山本真千子、湯浅照子、横倉知恵、米田由起子、渡邊健、渡邊智夫・京子 匿名 20件。